

## 令和6年度第2回倉敷市図書館協議会における御意見の主なもの

### 1. 事業の基本方針について

- ・「つながる」というコンセプトに向かって、様々な要素が連関しているイメージなど、大変良いと思った。
- ・「多様な世代が交流し、つながる場所」の方針がとても良いと思う。生まれてから死ぬまでの様々な場面で、利用・交流ができる場所であって欲しい。
- ・整備計画が、利用者への影響が最小限となるよう配慮されている点が良い。
- ・水島地域の活性化を担えるような複合施設になって欲しい。

### 2. 図書館機能について

#### ①児童館との連携について

- ・児童館に来ている子どもも、図書館の行事に参加しやすいような建物のつくりにして欲しい。
- ・図書館と児童館がつながっていると、活動の幅が広がるのではないか。
- ・子育て世代が声や音を気にせず読書ができるスペースについて、児童館と連携が必要だと思う。複数施設の機能を併せ持った空間があっても良いのではないか。
- ・児童館や公民館の活動にも役立つ本を揃えてほしい。

#### ②ゾーニングについて

- ・静かに過ごす場所と、にぎやかに過ごす場所と、すみ分けを行って欲しい。
- ・子育て世代が、周囲に気兼ねなく利用できる環境整備が大切だと思う。
- ・子ども図書スペースで音を気にせず利用できることが、とても良い。
- ・読書、調べものだけでなく、読み聞かせや自主学習などのそれぞれの目的に合った機能性とゾーニングをして欲しい。

#### ③ハード面について

- ・多様な閲覧スペースの確保は、大賛成。
- ・ボランティアがおはなし会等で活動できるスペースがあると良い。
- ・大人の読み聞かせや読書会のできるスペースがあると、交流が深まると思う。
- ・子どものためのスペースは広く確保して欲しい。

#### ③ソフト面について

- ・本の面白さを知らない人に知ってもらいたい。人の交流ができ、人と人とのつながりから本の良さを教えてもらうこともある。いろいろな家庭環境等を持つ子どもたちに本の良さを知ってもらいたい。
- ・幼少期から慣れ親しめる場所になって欲しい。
- ・幼児、子どもの笑顔にあふれ、学校帰りの児童が通えるような図書館にして欲しい。

- ・職員、利用者、ボランティアが力を合わせて、居心地の良い複合施設を目指していけたら良いと思う。

### 3. その他

- ・交流スペースで、地域活動の発表・展示ができて、その人達が図書館を利用しやすいような動線になると良い。
- ・交流スペースについて、みんなで話し合える場を作って欲しい。そして、集い、図書を使って研究した成果や、ワークショップを行った、その成果物の発表にホールを使ったり、展示したりという流れができると良い。
- ・玉島市民交流センターにあるような、ちょっと会話ができるような、フリースペースが欲しい。
- ・社会課題や経済課題解決のワークショップを気軽に交流スペースで開催できるようにして欲しい
- ・交流スペースが活性化すると、いろんなところに波及すると思う。そうなって欲しい。
- ・図書館など各施設が十分に機能を発揮できることはもちろんだが、各施設の相乗効果で一層魅力が高まる計画、ホール等イベント等にも柔軟に対応できる計画になっていると思う。
- ・多機能な貸室やホールがあると、利用しやすくなると思う。
- ・簡単な工作や実験ができるように、水回りや電源が整備されたコーナーがあると良い。
- ・快適な空間となるよう空間（感覚）の確保、採光、見通し、色彩等の工夫をして欲しい。
- ・イベントがなくても、行って、ほっとできる場所になって欲しい。
- ・多様な世代が交流し、つながり、新しい自分に出会え、そこから前に進めるノウハウが得られる場所になって欲しい。
- ・貧困や障がいなどで困っているのが見た目にはわからない子どもや学生たちのサポートができる場にして欲しい。
- ・児童館との連携について、工夫により行き来するなど、交流したら良いと思う。児童館の入退室管理をICT化し、簡素化することはできないか。そうすれば、児童館と図書館の双方に簡単に行き来ができる。
- ・館内共有の wi-fi 利用ができると良い。
- ・駐車場（駐輪場）が十分確保できていることは、市民の利便性から大変良いと感じる。
- ・自転車での利用者のための、駐輪場の整備について、よく検討して欲しい。
- ・支所と複合施設の両方を利用する人の、駐車場内移動の安全確保について、よく検討して欲しい。
- ・イベント時の周辺の渋滞等への配慮として、出入り口や駐車場内の導線の工夫、自転車等との安全な区分をして欲しい。